

平成 31 (2019) 年神奈川県  
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

子どもの保健

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。  
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …



(濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) …



- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、健康の指標と子どもの保健に関する日本の統計についての記述である。

( A ) ~ ( E ) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ( A ) は、その国や地域の衛生状態や社会状態を反映する指標とされる。
- ( B ) は、一人の女性が一生の間に産むと推測される子ども数であり、少子化の指標とされる。
- 平成 28 年の ( C ) は、年間 100 万人を下回っている。
- ( D ) は 1 ~ 4 歳児の死因の第 2 位であり、総死亡数に占める割合は約 12% である。
- 平成 28 年の ( E ) 数は年間で約 2 万、( E ) 率は約 20 ( 出産千対 ) である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	妊産婦死亡率	合計出生率	死亡数	心疾患	新生児死亡
2	周産期死亡率	特殊出生率	死亡数	乳幼児突然死症候群	乳児死亡
3	乳児死亡率	合計特殊出生率	出生数	不慮の事故	死産
4	周産期死亡率	合計特殊出生率	出生数	不慮の事故	乳児死亡
5	妊産婦死亡率	合計出生率	出生数	乳幼児突然死症候群	死産

問2 次の文は、児童虐待に関する記述である。適切な記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保育者は、虐待の早期発見と対応の全ての責任を負う。
- B 虐待は、確証がある場合にのみ通告する。
- C 著しく清潔が保たれていない場合にはネグレクトを疑う。
- D 虐待を受けた子どもは保育者に甘えることはない。
- E 乳幼児期も性的虐待を疑う必要がある。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A D
- 3 B C
- 4 C E
- 5 D E

問3 次の文は、正確に乳幼児の身体計測を行うための留意点に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 身長計の計測値を読むときは、目線を目盛りと同じ位置に合わせる。
- B 胸囲の計測値を読むときは、自然の呼吸をしているときに呼気と吸気の間であることとする。
- C 頭囲は、額の最突出部と後頭部の一番突出したところを通る周径とする。
- D 乳児の身長測定では両膝を伸ばす。
- E 計測者が目盛を読み、記入者は復唱しながら記入する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	×
2	○	○	×	○	○
3	○	×	○	×	×
4	×	○	×	○	○
5	×	×	○	○	×

問4 次の文は、乳幼児の運動機能の発達に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 座ったまま下肢を動かして移動するシャフリングベビーはその後の運動発達に異常が生じる。
- B 身体の基本的な発達の方向としては、末梢から中心部へ向かう。
- C 姿勢の観察を行うことは、発達のレベルや脳性麻痺の有無の可能性を知る手がかりとなる。
- D 幼児期は、子どもが好きなスポーツで、特定の動きに集中して取り組むとよい。
- E 把握反射が消失すると、自発的にものをつかめるようになる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	○
2	○	○	○	×	×
3	○	×	×	×	×
4	×	×	○	×	○
5	×	×	×	○	×

問5 次の文は、風疹に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 先天性風疹症候群は、乳幼児期の風疹罹患によって起こる。
- 2 風疹未罹患で予防接種未接種の30～50代の男性は、予防接種を積極的に受けることが望ましい。
- 3 日本では2012年以降に流行はみられない。
- 4 風疹の出席停止期間は「解熱した後3日を経過するまで」である。
- 5 風疹に特徴的な症状として、口腔内に白色の小さな斑点(コプリック斑)がみられる。

問6 次の文は、麻疹(はしか)に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 発熱は一時期下降傾向を示すが、再び上昇し、その後、発しんが出現する。
- B 発しんは赤みが強く、やや盛り上がり徐々に融合し、色素沈着を残して消失する。
- C 感染力は非常に強く、主な感染経路は接触感染及び経口感染である。
- D 発症予防として1歳になったとき及び小学校就学前の1年間の間に、合計2回のMRワクチンの接種が行われている。
- E 罹患した子どもの登園のめやすは、「解熱後5日を経過していること」である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	○
2	○	○	×	○	×
3	○	×	○	×	○
4	×	×	○	○	×
5	×	×	×	○	○

問7 次の【Ⅰ群】の感染経路と【Ⅱ群】の保育所における具体的な感染症対策を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 飛沫感染
- B 空気感染
- C 接触感染
- D 血液媒介感染
- E 蚊媒介感染

【Ⅱ群】

- ア 子どもの年齢に応じて、手洗いの介助を行うことや適切な手洗いの方法を指導し、タオルの共用は絶対にしないようにする。
- イ 子どもや職員の皮膚に傷ができたなら、できるだけ早く傷の手当てを行い、その際には、使い捨て手袋を装着して、傷に触れることがないようにする。
- ウ 室内等の密閉された空間内で起こるものであり、対策の基本は発症者の隔離と部屋の換気である。
- エ 感染の流行期間中は、職員全員が咳エチケットを行い、マスクの着用ができる子どもにはマスクなどの咳エチケットの実施を促すようにする。
- オ 溝の掃除により水の流れをよくして、水たまりを作らないようにする。また、植木鉢の水受け皿や古タイヤを置かないようにする。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | オ | エ | ウ |
| 2 | イ | ウ | エ | ア | オ |
| 3 | ウ | エ | ア | イ | オ |
| 4 | エ | ウ | ア | イ | オ |
| 5 | オ | エ | イ | ウ | ア |

問8 次の文は、ヒトの出生前後に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 胎児性アルコール症候群は妊娠中に飲酒することによって生じる可能性がある。
- B 妊婦の喫煙と低出生体重児には関連がある。
- C 胎児期の血液循環は出生後に変化する。
- D 胎児の聴覚機能は妊娠初期に完成する。
- E 受精卵の着床と同時に胎盤が完成する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	○	×
2	○	○	○	×	×
3	○	×	○	×	×
4	×	○	×	×	○
5	×	×	○	○	×



問9 次の文は、保育所における子どもの体調不良の対応に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 38.0℃の発熱がみられ、元気がなく機嫌が悪いため、保護者に連絡をした。別室に移動して、迎えに来る間に検温と水分の補給を行い、安静に過ごした。
- B おう吐をした子どもへの対応として、うがいをした後、30分程度経過しても吐き気になかったため、経口補水液などの水分を少量ずつ摂らせた。
- C 登園時、母親から「水様便が複数回出ている」「元気がない」と報告を受けたため、保育室での子どもの様子を普段より頻回に観察した。
- D 幼児が咳込んだため、前かがみの姿勢を取らせ、背中をさすったり、軽いタッピングを行った。
- E 微熱程度の発熱のあと、手のひら、足の裏、口の中に水泡が出た。手足口病の可能性を念頭において、全身の状態を観察しながら保育を継続した。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	×
2	○	○	×	○	×
3	○	×	×	○	○
4	×	○	○	×	×
5	×	×	○	○	○

問 10 次のうち、熱中症に関する記述として正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 熱中症は、高温環境下で体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体内の調整機能が破たんし発症する。
- B I度の熱中症は、頭痛、おう吐、倦怠感、脱力感、集中力や判断力の低下が症状であり、通常は現場で対応が可能な状態である。
- C 子どもの熱中症予防では、夏季は短時間といえども室内に子どもを放置しないことや、高温多湿時は急激な運動や長時間の運動は極力控えることが必要である。
- D 子どもの水分補給は、自由飲水ができるように指導し、子どもののどの渇きに応じてのみ行う。
- E 熱中症を疑ったら、涼しい場所で可能な限り衣服を脱がせて、露出させた皮膚に水をかけて、うちわや扇風機などで扇ぐなど、熱の放散を助ける。

(組み合わせ)

- 1 A B D
- 2 A B E
- 3 A C E
- 4 B C D
- 5 C D E

問 11 次の文は、保育者が行う乳幼児の救急処置に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 乳幼児に対する心肺蘇生法として、人工呼吸用マスクまたはフェイスシールドを使用して人工呼吸を行う。
- 2 乳幼児に対する心肺蘇生法として、自動体外式除細動器（AED）を用いる。
- 3 乳幼児に対する心肺蘇生法として、救助者が1人で行う場合は、胸部圧迫30回と人工呼吸2回を救急隊が到着するまで繰り返す。
- 4 乳幼児が誤嚥による窒息を起こした時は、背部叩打法と腹部突き上げ法（ハイムリック法）を交互に行う。
- 5 エピペンを処方されている乳幼児のアナフィラキシーショックに対して、エピペンを使用する。

問 12 次の文は、保育施設の室内外の衛生管理に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A トイレの便器や水回り、床やトイレ用サンダルなどは、毎日の清掃に加え、週 1～2 回は、消毒用エタノール又は塩素系消毒薬等による消毒をする。
- B 園庭は、動物の糞尿、樹木や雑草、害虫、水たまりなどが点検し、砂場は週末にシートをかぶせて動物が入らないようにする。
- C むいぐるみがおう吐物で汚れた場合は、消毒用エタノールで汚れをふきとり、日光消毒をする。
- D おむつ交換は手を洗うことができる決められた場所で行い、食事の場などと交わることを避ける。
- E 食後の清掃は、清潔な台布巾で水（湯）拭きをして、テーブルや床への食べこぼし等の清掃を徹底する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	×
2	○	○	×	×	×
3	○	×	○	×	○
4	×	×	○	×	○
5	×	×	×	○	○

問 13 次のうち、子どもへの安全教育に関する記述として、正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 3歳頃までの幼児期では、子どもの話の理解力、運動能力、危険予知・回避能力が低いため、安全教育は行わない。
- B 1歳6か月頃の子どもには、安全と危険について、はっきりした短い言葉で、真剣な表情を見せながら伝える。
- C 1歳3か月頃の子どもが危ないことをした時の禁止の言葉は、保護者と連携し、家庭と同じ言葉で伝わりやすくする。
- D 保育者が環境整備に努めても大部分の事故は防止できない。
- E 保育施設での子どもへの安全教育は、日常生活の中で、様々な場面をとおして子どもに教えていくことが大切である。

(組み合わせ)

- 1 A B C
- 2 A B D
- 3 B C E
- 4 B D E
- 5 C D E

問 14 次の文は、保育現場の危機管理への取り組みに関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保育現場における危機管理は、子どもと職員の生命と安全を脅かす出来事を防ぎ、もし発生したときは、その影響を最小限に食い止めることを目的とする。
- B 災害の種類や危険な場所については、実際に職員自ら足で歩き、交通量や道幅、落下や倒壊など避難の障害となる場所の確認等を行い、予測しておく。
- C 重大事故や不審者の侵入等の危機管理については、必要があれば緊急時の対応マニュアルを作成し、全職員が把握しておく。
- D 保育所の避難訓練の実施については、「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」において、少なくとも月1回は行わなくてはならないと規定されている。
- E 危険の予知・予測は、危機に関する情報収集や事例（インシデント・アクシデント）により原因結果を分析・検討し、同じ事故の予測と回避をする。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	○	○
2	○	×	○	○	×
3	×	○	○	×	○
4	×	×	○	○	×
5	×	×	×	×	○

問 15 次の文は、保健計画の作成と評価に関する記述である。適切な記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保健計画の内容は、「健康の管理」「健康教育」「環境衛生・環境安全」の3つに大別される。
- B 保健計画は全体的な保育計画の中に含めて計画し、健康の保持に役立てる。
- C 保健計画は、看護師や保健師が在籍している場合には、専門性を生かして計画作成に参加する。嘱託医や栄養士などの協力も望ましい。
- D 実施された保健活動の記録では、子どもの姿（興味・関心・理解・状況など）のみを記録する。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問 16 次の文は、自閉症スペクトラム（ASD）の特徴に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 相手とのやりとり、ルールのある遊びに参加ができない。
- 2 物を取る、操作するなどの行動をしてほしい時にクレーン現象がある。
- 3 自分の納得がいくやり方ができるまで、やり直す、人にやり直しさせる。
- 4 嫌いな感触のものに触れたり、食べたりできない。
- 5 指示されたこと、考えたことを覚えていられない。(ワーキングメモリーの低下)

問 17 次の文は、「保育所保育指針」第2章「保育の内容」1「乳児保育に関わるねらい及び内容」の「保育の実施に関わる配慮事項」に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 一人一人の子どもの生育歴の違いに留意しつつ、欲求を適切に満たし、特定の保育士が応答的に関わるように努めること。
- 2 保護者との信頼関係を築きながら保育を進めるとともに、保護者からの相談に応じ、保護者への支援に努めること。
- 3 疾病への抵抗力が弱く、心身の機能の未熟さに伴う疾病の発生が多いことから、一人一人の発育及び発達状態や健康状態についての適切な判断に基づく保健的な対応を行うこと。
- 4 自我が形成され、子どもが自分の感情や気持ちに気付くようになる重要な時期であることに鑑み、情緒の安定を図りながら、子どもの自発的な活動を尊重するとともに促していくこと。
- 5 職員間の連携や嘱託医との連携を図り、栄養士及び看護師等が配置されている場合は、その専門性を生かした対応を図ること。



問 18 次のうち、子どもの問題行動への対応に関する記述として適切な組み合わせを一つ  
選びなさい。

- |                    |  |
|--------------------|--|
| A 指示に応じた行動ができない。   | － 指示は具体的に短く簡潔に出す。                        |
| B 活動への集中が続かない。     | － 机に子どもの好きな物を並べて、気持ちを落ち着かせる。             |
| C 他児に暴力を振るう、暴言を吐く。 | － すぐにきつく叱責する。                            |
| D 行事への参加が困難である。    | － 初めての行事に参加する場合、前回のビデオを見せるなどあらかじめ説明しておく。 |
| E 同じ質問を何度も繰り返す。    | － カレンダー等に予定を書き込み、視覚的に確認できるようにする。         |

(組み合わせ)

- 1 A B C
- 2 A D E
- 3 B C D
- 4 B C E
- 5 C D E

問 19 次のうち、発達性読み書き障害（発達性ディスレクシア）に関する記述として、正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 知的障害や環境的な要因が直接の原因になることが多い。
- B 失敗や叱責を受ける経験から、あらゆる面で意欲を失っていることが多い。
- C 平成 18 年度から、通常の学級の中で十分な配慮を行った上で、必要であれば、通級による指導を行うことができるようになった。
- D 家庭、学校、医療関係者の連携がとりわけ必要な疾患である。
- E 学校中退や進学率低下に繋がることは少ない。

(組み合わせ)

- 1 A B C
- 2 A B E
- 3 A D E
- 4 B C D
- 5 B D E

問 20 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

選択性緘黙が疑われるN君（4歳、男児）は、保育所では先生とも友達とも話ができず、いつも一人で遊んでいる。しかし、集合するときや食事のときには自ら気づいて遅れずに行動しているので、理解力の問題はないようである。

【設問】

N君への保育者の対応として適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 嘱託医に相談するように勧める。
- B 友達にN君に積極的に話しかけるように協力を求める。
- C 静かな部屋で先生と二人で話す練習をする。
- D ジェスチャーなど言葉に頼らないコミュニケーションを試みる。
- E 保護者に家での様子を聞く。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	○
2	○	×	○	×	×
3	○	×	×	○	○
4	×	○	○	○	×
5	×	×	×	○	○